富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	流通システム論Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0316		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	渡辺達朗、原頼利、遠藤明子、田村晃二 (2008) 『流通論をつかむ』有斐閣.				
担当教員	那須野 育大				
到達目標					
流通システムの現状と役割について、理解を深める。 流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用して、個々の事例に関する自分の見解を述べられるようになる。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		流通システムの現状と役割について、幅広く説明できる。	流通システムの現状と役割について、その一部を説明できる。	流通システムの現状と役割について、説明できない。	
評価項目2		流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を十分に述べられる。	流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を不十分ながらも述べられる。	流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を述べられない。	
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本講の目的は、流通に関する基本的概念と理論的枠組みを習得し、流通システムの進化の方向性を展望することにある。「流通システム論Ⅱ」では、流通における組織間関係、ICTとインターネットの活用、流通と公共政策との関係について考察する。				
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、視聴覚教材やグループワークを交えて実施する。				
注意点	本講では、毎回提出する「授業のまとめ」（授業の要約・意見・感想を書いたもの）の内容を重視する。また、受講生の積極的な発言や意見交換を期待する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、流通における組織間関係	「流通システム論Ⅱ」の目的について、理解できる。また、メーカーと流通業者との協調・対立、垂直的取引制限、再販売価格維持について、理解できる。	
		2週	製販提携と延期型流通	大規模小売企業の成長とパワー関係の変化、製販提携、延期化と多頻度小口配送について、理解できる。	
		3週	サプライチェーン・マネジメントの進展について、理解できる。	「物の流れ」の管理の重要性、市場環境の変化とコンセプトの進化、ロジスティクス、サプライチェーン・マネジメント、延期と投機の理論について、理解できる。	
		4週	流通におけるICTの活用	JANコードの確立、POSシステムの普及、CVSの革新性について、理解できる。	
		5週	流通におけるICT化の進展と意義について、理解できる。	企業間情報ネットワークの発展、インターネット時代の到来（オープン・ネットワーク化）、電子タグの登場について、理解できる。	
		6週	グループワーク（1）	ある特定の研究テーマ（流通）について、情報収集・調査できる。	
		7週	インターネット販売と効率性	インターネット販売の基本的特徴、効率性と創造性について、理解できる。	
		8週	インフォメディアリの役割	インフォメディアリのタイプと戦略、収穫逓増型ビジネスモデル、マス・カスタマイゼーション、ロングテールの特徴について、理解できる。	
	4thQ	9週	インターネット販売の創造性	インフォメディアリの新たな動向、ネット・コミュニティ・ビジネスのタイプ、コミュニケーションによる欲望の創出、アフィリエイト・プログラムについて、理解できる。	
		10週	環境問題への対応	企業の社会的責任（CSR）、流通の外部性、地球温暖化防止と循環型社会形成、法制度の整備、小売業の環境経営について、理解できる。	
		11週	まちづくり政策の展開	まちづくり3法の制定、大規模小売店舗立地法、3法見直しの理念（スプロールの開発からコンパクト・シティへ）、新中心市街地活性化法、都市計画法について、理解できる。	
		12週	流通と公正競争	競争政策と独占禁止法、不公正な取引方法（一般指定と特殊指定）について、理解できる。	
		13週	グループワーク（2）	ある特定の研究テーマ（流通）について、資料作成・発表できる。	
		14週	ビジネス事例研究	経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。	
		15週	期末試験	第1～14回の学習内容	
		16週	成績確認	答案返却、解説	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	授業のまとめ	グループワーク	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	30	20	5	0	0	0	55
専門的能力	20	0	5	0	0	0	25
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20